

鳥大附小の魅力紹介

2019 vol. 5

知財創造教育への挑戦

鳥取大学附属小学校で行われているさまざまな魅力いっぱいの取組をご紹介します！

第5回目は本年度より取組をスタートした「**知財創造教育**」についてです。

知財創造教育は、内閣府が推進する知的財産の創造、保護及び活用に関する施策の一環として、2015年よりスタートしました。その目的は、わが国産業の国際競争力強化の必要性が増大している状況から、国民一人一人が創造性豊かに知的財産を創り出し、使いこなせることを目指し、地域・社会と協働した、発達の段階に応じた系統的な知財教育を推進するというものです。首相官邸の下記のホームページには「知財創造教育」の全国での取組事例が紹介されており、そのなかに本校でご指導いただいている鳥取大学医学部の植木賢教授のグループが作成した教材「発明楽」も紹介されています。知財創造教育というと堅苦しく難しいイメージですが、元々は植木先生が医学部の学生向けに、医療機器の改良には患者さんの立場に立って想像力を働かせて、新たな創造をしていくことが大切であることを説いた授業があり、それをベースに小学生の段階から楽しみながら自由な発想で、ものを創造していく楽しさを学んでもらおうというものです。本校では、4月より5年生の「総合的な学習の時間」を活用して、植木先生のグループと連携した知財創造教育の授業を行っています。子供たちは、これまでの知識吸収型の教科とは異なる、創造力を働かせた自由な発想を楽しんでいるようです。現在、来年度以後の展開について、私たちも創造力を働かせて議論を進めています！

首相官邸 知財創造教育推進コンソーシアム「知財創造教育」に関する教育プログラム HP (2019.12.17 確認)

<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/tizaikyoku/program.html>

